

別紙

構造図やカタログも添付して
ください

1 特定施設の構造

イ 特定施設の型式、構造、主要寸法及び能力並びにこれに関する主要機械又は主要装置の配置（添付第1図のとおり）

特定施設の名称	型 式	構 造	主 要 寸 法 (たて×よこ×深さ)	能 力	備 考
66 電気めっき施設	〇〇-〇〇型	コンクリート製	〇〇〇cm×〇〇〇cm×〇〇cm	〇〇〇〇m ³ /時間	
〃	〇〇-〇〇式	鉄製	〇〇cm×〇〇cm×〇〇〇cm	〇〇〇〇本/時間	3系列

ロ 特定施設に係る工事の着手及び完成の予定年月日並びに特定施設の使用開始の予定年月日

工事着手予定年月日	工事完成予定年月日	使用開始予定年月日
令和2年 4月 15日	令和2年 7月 31日	令和2年 8月 1日

ハ その他特定施設の構造について参考となるべき事項

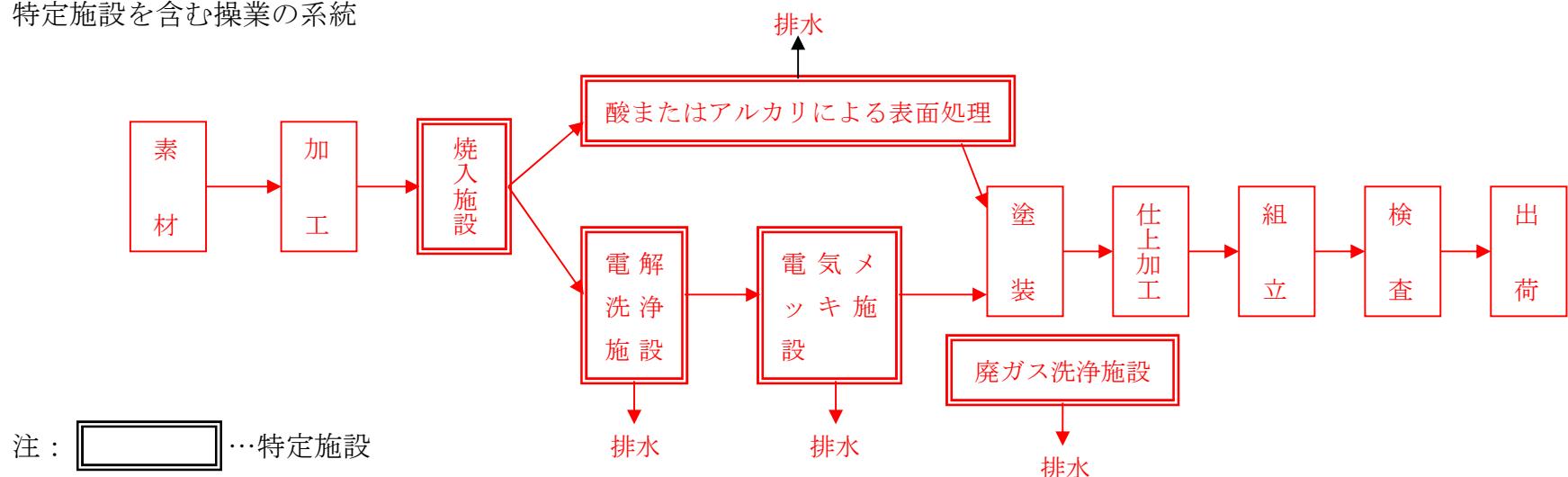
なし。

2 特定施設の使用の方法

イ 特定施設の設置場所

添付第2図のとおり。(図中の特定施設は、赤線で記入すること。)

ロ 特定施設を含む操業の系統



ハ 特定施設の使用時間間隔及び1日当たりの使用時間並びにその使用に季節的変動がある場合には、その概要

特定施設の名称	使用時間間隔	1日当たりの使用時間	季節的変動の概要	備考
66 電気めっき施設	連続	24時間	5~8月以外は 8~17時8時間使用	①
〃	8~17時	8時間	なし	②

二 特定施設を含む作業工程において使用する原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量

特定施設の名称	原材料の種類	使 用 方 法	1日当たりの使用量	備 考
66 電気めっき施設	塩酸	表面処理用（5%水溶液）	10kg	
〃	青化ソーダ	亜鉛メッキ（10%水溶液）	20kg	
〃	無水クロム酸	表面処理用（15%水溶液）	30kg	
〃	か性ソーダ	表面処理用（20%水溶液）	40kg	

ホ 特定施設の使用時において、当該特定施設から排出される汚水等の汚染状態（当該特定事業場の排出水に係る排除基準に定められた事項に限る。）の通常の値及び最大の値並びに当該汚水等の通常の量及び最大の量

単位：mg/リットル（温度・PHを除く）

特定施設の名称	汚水等の量 (m ³ /日)		汚 染 状 態																	
			温 度		P H		B O D		S S		鉱油類		動植物油		C d		C N		有機リン	
	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
電気めっき施設①	120	140	20	25	6.0	9.0	250	300	300	350	40	50	50	60			10	15		
電気めっき施設②	200	240	25	30	9.0	10.5	150	180	100	120	5	10	10	20			20	30		
計	320	400																		

汚 染 状 態																		備考	
P b		6価C r		A s		H g													
通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大		
		50	60																
		43	50																

へ その他特定施設の使用の方法について参考となるべき事項

なし

3 汚水等の処理の方法

イ 汚水等の処理施設の設置場所

添付第3図のとおり。(図中の処理施設は、青線で記入すること。)

ロ 汚水等の処理施設に係る工事の着手及び完成の予定年月日並びに使用開始の予定年月日

工事着手予定年月日	工事完成予定年月日	使用開始予定年月日
令和2年 4月 15日	令和2年 7月 31日	令和2年 8月 1日

ハ 汚水等の処理施設の種類、型式、構造、主要寸法及び能力並びに汚水等の処理の方法

種類	型式	構造	主要寸法(m)	処理能力	処理方式	備考
シアン系 排水処理施設	○○式 ○○○型	コンクリート製 地下埋込式	原水貯留槽 C N系 $1.5 \times 2 \times 2$ C r系 $1.5 \times 2 \times 2$ A B系 $3 \times 4 \times 2$ シアン分解槽 $1 \times 2 \times 2$ クロム還元槽 $1 \times 2 \times 2$ ⋮	シアン系 $60 m^3/\text{日}$	アルカリ塩素法	
クロム系 排水処理施設	△△式 △△△型	〃		クロム系 $60 m^3/\text{日}$	クロム還元法	
酸アルカリ系 排水処理施設	××式 ×××型	〃		酸アルカリ系 $200 m^3/\text{日}$	中和法	

二 汚水等の処理の系統

ホ 汚水等の集水及び汚水等の処理施設までの導水の方法

添付第4図のとおり。(集水及び導水の経路を、赤線で記入すること。)

へ 汚水等の処理施設の使用時間間隔及び1日当たりの使用時間並びにその使用に季節的変動がある場合には、その概要

処理施設の名称	使用時間間隔	1日当たりの使用時間	季節的変動の概要	備考
排水処理施設	連続 16時～翌日8時	24時間 16時間	なし 冬季は、17時～翌日6時・13時間	

ト 汚水等の処理施設において中和、凝集、酸化その他の反応の用に供する消耗資材の1日当たりの用途別使用量

処理施設の名称	用途別	消耗資材の名称	1日当たりの使用量	備考
排水処理施設	中和用 凝集用 シアン分解用 クロム還元用	消石灰 硫酸及びか性ソーダ 硫酸バンド 高分子凝集剤 次亜塩素酸ソーダ 重亜硫酸ソーダ	100kg 各80kg 60kg 40kg 20kg (10%水溶液) 40kg	

チ 汚水等の処理施設の使用時における、当該汚水等の処理施設による処理前及び処理後の汚水等の汚染状態（当該特定事業場の排出水に係る排除基準に定めた事項に限る。）の通常の値及び最大の値並びに当該汚水等の通常の量及び最大の量

1) 処理前（単位：m g /リッル、PHを除く）

処理施設の名称	汚水等の量 (m3/日)		汚 染 状 態																
			温度		P H		B O D		S S		鉱油類		動植物油		C d		C N		有機リン
	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常
排水処理施設	325	385	20	25	6.0	9.0	250	300	300	350	40	50	50	60			10	15	

汚 染 状 態																		備考	
P b		6価C r		A s		H g													
通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大		
		50	60																

1) 処理後 (単位: mg/リッル、温度・PHを除く)

処理施設の名称	汚水等の量 (m3/日)		汚 染 状 態																	
			温 度		P H		B O D		S S		鉱油類		動植物油		C d		C N		有機リン	
	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
排水処理施設	325	385	20	25	6.0	7.0	20	25	25	35	1	2	5	6			0.4	0.5		

汚 染 状 態																		備考		
P b		6 億 C r		A s		H g														
通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	
		0.1	0.3																	

リ 汚水等の処理によって生ずる残さの種類及び1月間の種類別生成量並びに処理の方法の概要

残さの種類	1月間の生成量	処理の方法の概要	備考
汚泥	50kg (含水率80%)	汚泥貯留槽の汚泥は、汚泥濃縮槽にポンプ圧送され、含水率98%に濃縮される。	汚泥運送業者 ○○○○株 ○○市○○○○○番地 1回／3月 トラックで搬出する。

ヌ 排水口の位置及び数

添付第5図のとおり。排出口の数は合計2ヶ所。

ル その他汚水等の処理の方法について参考となるべき事項

排水処理フローチャート及び設計計算書 別添のとおり

設計・施行業者、メンテナンス業者の名称及び住所を記載する。

4 公共下水道へ排除する下水の汚染状態及び量

イ 当該特定事業場の排水口における排出水の汚染状態（当該排出水に係る排除基準に定められた事項に限る。）の通常の値及び最大の値並びに当該排出水の通常の量及び最大の量

排水口別	汚水等の量 (m3/日)		汚 染 状 態																	
			温度		P H		B O D		S S		鉱油類		動植物油		C d		C N		有機リン	
	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
公共汚水樹	325	385	20	25	7.0	8.0	20	25	20	35	1	2	3	4			0.2	0.3		

汚 染 状 態																		備考		
P b		6 億 C r		A s		H g														
通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	
		0.1	0.2																	

5 用水及び排水の系統

イ 用水及び排水の系統図

添付第 6 図のとおり（用水系統は青線で、排水系統は赤線で記入すること。）

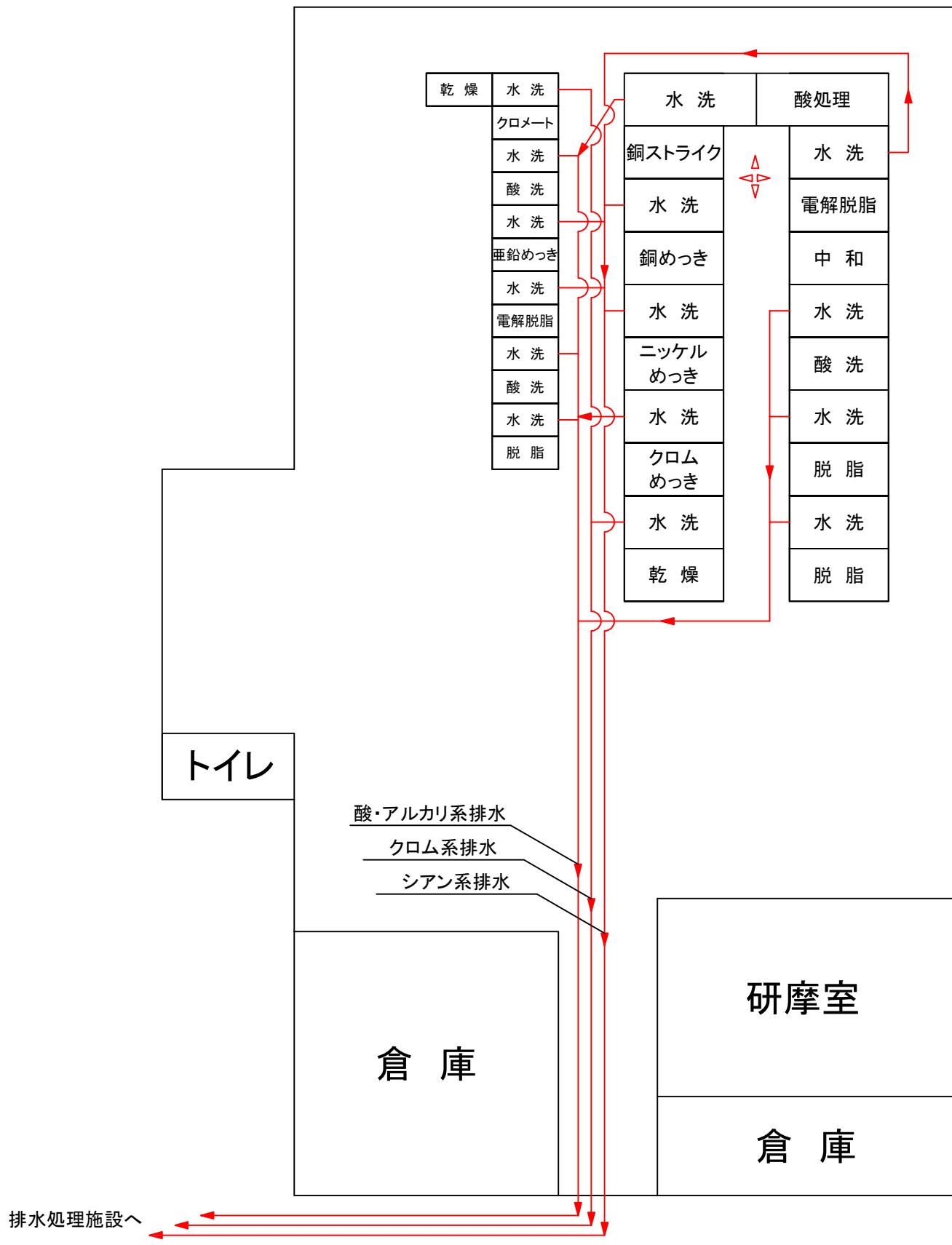
ロ 用途別用水使用量

用 水 别 (m3／日)						
上 水 道	工 業 用 水	地 下 水	その他 ()	回 収 水	合 計	
405	0	0	0	0	405	
用 途 別 (m3／日)						
ボイラー用水	原料用水	洗浄用水	生活雑用水	冷却用水	温調用水	その他
0	0	400	5	0	0	405

6 その他の参考事項

業 種 名	○○○○製造業	創 業 年 月 日	平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日
主 要 製 品 名	○○○○、○○○○	資 本 金 (円)	10,000 万
生 産 高 (円／月)	1,000 万	従 業 員 数 (人)	40

添付第1図 特定施設に関連する主要機械
又は主要装置の設置場所



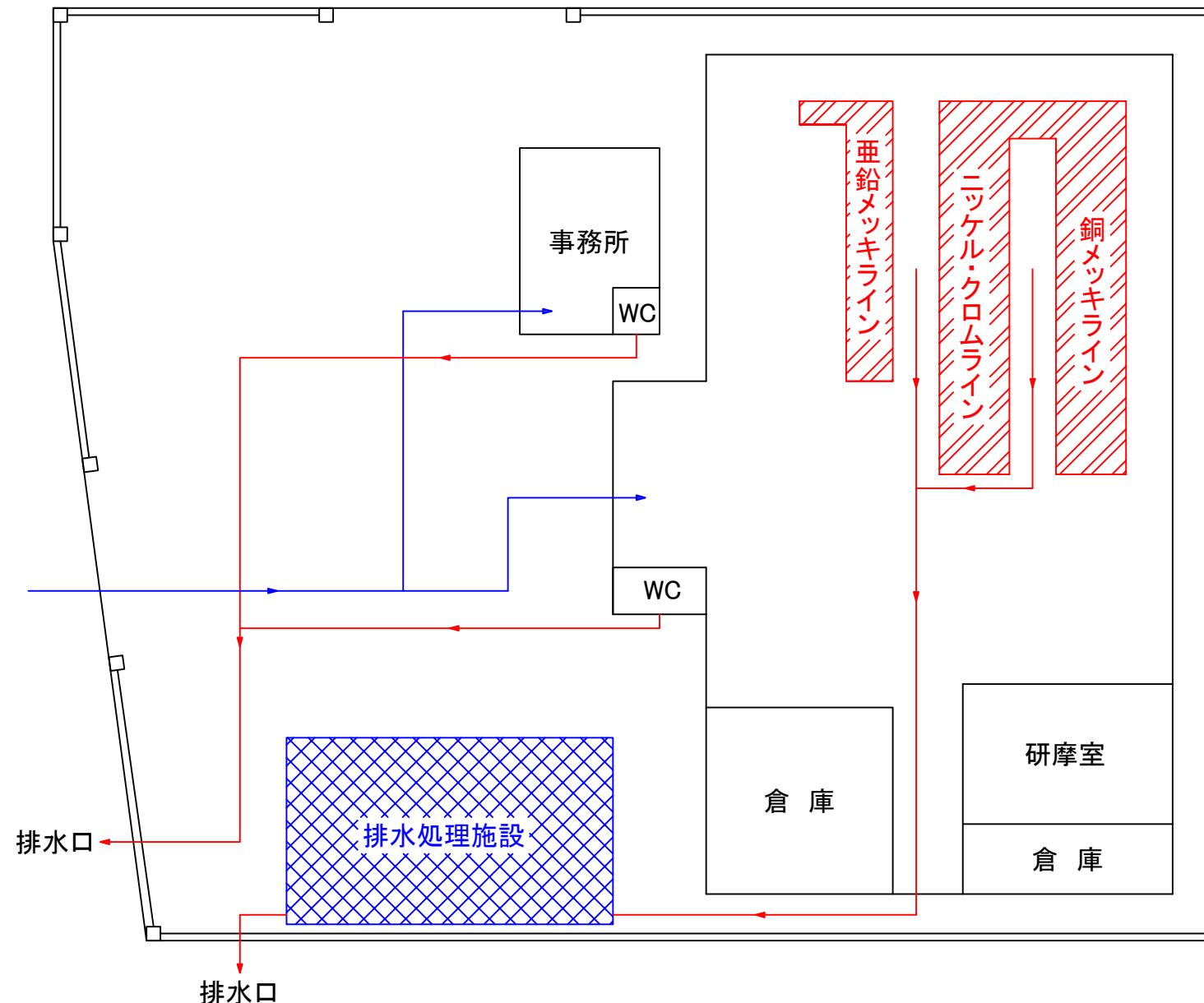
添付第2図 特定施設の設置場所

添付第3図 汚水等の処理施設の設置場所

添付第4図 汚水等の集水及び導水の経路

添付第5図 排水口の位置図

△



赤線は排水系統
青線は用水系統
■は特定施設
□は除害施設

第6図 用水及び排水の系統図

記載例

